

魅力教育 あふれる

15歳で親元を離れる村の子ども達。
夢を育み、離島だからこそ求められる
『自立(自律)』と『生きる力』の教育。



南大東村の教育

南大東校は1908(明治41)年7月1日、八丈島で末吉小学校に奉職していた沖山岩作氏を初代校長として招き(赴任は5月23日)、池之沢部落の一民家を利用してスタートしました。児童数は78人。それ以前は有志が自宅で塾を開き、教育を行っていました。1913(大正2)年に現在の敷地に移転。1915(大正4)年に県庁の正式認可を受けました。幾多の変遷を経ていますが、1946(昭和21)年、村政がスタートするにともなって南大東初等

学校として公立校となり、1948(昭和23)年に南大東中学校が設置されています。同敷地内に南大東幼稚園も隣接しています。

現在の在校生は小学校86人、中学校36人です(令和4年度学校基本調査)。

小学校と中学校は併置校、高等教育は村内に高校がないため、島外の高等学校へ進学しています。



知・徳・体・郷土を愛し、 郷土を拓く子

本村の子ども達は、15歳で親元を離れ、島外の学校へ進学していきます。一人ひとりが自立(自律)できるよう、幅広い知識と柔軟な思考に基づく判断力や社会の変化に対応する資質や能力など、これからの時代に求められる「生きる力」の育成のために、子ども達の夢を育みキャリア教育と連動した確かな学力向上に取り組んでいます。また、島を愛する心を育てるため、道徳や人権教育・地域学習に努めています。



初代校長 沖山 岩作 氏

明治7年4月11日、東京府八丈島末吉村に生まれ、今日の南大東小学校の土台を築いた。



保育所

人材をもって 資源となす。

南大東村民は「人材をもって資源となす」を村是と定め、学校・家庭・地域それぞれがお互いの立場を尊重し、教育の向上に努めています。これまで2年保育だった幼稚園教育は、令和5年度から村立幼稚園で3歳児、4歳児、5歳児の3年保育となります。小学校と中学校は併置校、高等教育は村内に高校がないため、島外の高校へ進学します。南大東小中学校では文武両道で、吹奏楽部、バドミントン部が大活躍。また、英語はALT教員のネイティブな発音に幼稚園から親しんでいます。



南大東村子ども・子育て支援事業計画

基本理念

うふあがりっ子 親 地域が育む 教育立村

- 【基本目標1】教育・保育の整備と充実
- 【基本目標2】子育てしやすい地域づくり
- 【基本目標3】子どもと母親の健康の確保
- 【基本目標4】支援を必要とする世帯への対応などきめ細やかな取り組みの推進

